

図書館エッセイ

「どこかで春が」

尾鷲市立図書館協議会委員 西村 留理子

信号待ちの車の中から下校時の高校生と思われるカップルが目についた。急坂の歩道で二人の脇を走り抜けようとする自転車を、男子生徒が女子生徒を咄嗟にかばうようにしてやりすごした。二人に怪我はなかったようだ。一部始終を見ていた私は「若者よありがとう」と、彼女の親にでもなりかわった気持ちでつぶやいた。三月にはいり春めいてくると、つい口ずさんでしまう歌がある。フォークソンググループ、クラフトの「僕にまかせてください」。1975年の曲だからかれこれ五十年近くもこの季節の私の愛唱歌になっているその歌詞を紹介します。

♪ きみはその手に 花をかかえて 急な坂をのぼる
 僕の手には 小さな水おけ きみのあとにつづく
 きみのかあさんが 眠っている ささやかな石のまわり
 草をつみながら 振り返ると 泣き虫のきみがいた
 両手をあわせた かたわらで 揺れてるれんげ草
 あなたの大事な人を僕にまかせてください

春の彼岸に墓参りする若い男女の姿がとても温かく伝わってくるようで、時をこえての名曲だと思います。くだんの男子生徒もいつか墓石の前で彼女のために決意表明する時がくるのだろうか。君なら任せられるような気がするけれど。いやはや第三者が妄想をかってに広げすぎてすみません。

さてこの歌、実はさだまさしさんの作詞作曲です。さださんはシンガーソングライター、ラジオのパーソナリティ、映画監督として活躍され、また小説家としての一面もあり児童書も何冊か書かれています。そのなかで私が好きな「おばあちゃんのおにぎり」は、さだ少年と人生の大半を争乱のロシア大陸で送った祖母との交流を描いた実話に基づくお話です。いちばん尊敬していちばん好きな人はおばあちゃんと語る冒頭から、このお話にひきこまれてしまいました。おばあちゃんを思いやり、おにぎりを二個いっぺんにほおぼるさだ少年には落涙も。児童書ではありませんが、おじいちゃんおばあちゃん世代の人達にもぜひ一読をおすすめします。

春分の日や桜の開花ももうそこまで。早いもので2022年も四分の一が過ぎたこととなります。若い時にくらべて過ぎるのがどんどん加速している気がするのですが、これは「ジャンネーの法則」というもので、年をとるにつれて人生における「1年」の比率が小さくなるため、時間が早く過ぎるようになるらしい。もちろんこれを知ったからといって、年を重ねるごとに短くなっていく一日一年を受容しなければならない事実にかわりはないのですが。今できることに目をむけ、さだ少年のおばあちゃんのような度胸と度量のあるおばあちゃんをめざしたいものです。そして忘れずに加齢の心配とは無縁となった人々と対話しに春のお墓参りをしようと思う。



図書館行事報告

☆寿文庫へご協力いただき、 ありがとうございました！

寿文庫運営委員会では、「寿文庫」充実のため、図書購入に協力していただく運動を続けています。今年もこの運動により、厄年・祝い年や一般の方をあわせて78名の皆様から、612,907円の寄付をいただきました。

ご協力ありがとうございました。ここに厚くお礼申し上げます。
 寿文庫運営委員会 委員長 宮崎 真一、委員一同

今回のご寄付は「第57回寿文庫」として図書を購入させていただきます



2022 4 April

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2022 5 May

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2022 6 June

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

おはなし会の予定

★おはなしだっこ【赤ちゃん対象】
 第1木曜 1歳児以上 10:00~
 0歳児 10:45~

★おはなしのひろば【幼児対象】
 毎週土曜日 11:00~11:30
 (ただし第五週はお休みです)

色付きは休館日、○付きは祝日です



尾鷲市立図書館 (〒519-3616 三重県尾鷲市中村町 10-41)

開館時間 火~金 9:30~19:00 / 土日祝 9:30~17:00
 休館日 月曜日・月末 ※月曜日が祝日の場合は翌日休館
 年末年始・蔵書点検期間 月末が土日の場合は直前の金曜日休館
 電話番号 0597-23-8282 FAX 0597-23-8283
 図書館 HP <https://ilisod003.apsel.jp/owase-library/>



図書館だより 2022年春号

つみくさ



新たなトビラを ひらこう!

暖かな陽気に、気持ちも華やぐ春！
 新生活の季節がやってきました。環境の変化や人生の節目を迎え意欲に燃える人も多いのではないのでしょうか？
 つみくさ春号では、何か始めたい人のヒントになるような本や、新たな環境で奮闘する人々を描いた小説を紹介します。もしかしたら、これからの人生を彩るような何かが見つかるかもしれません。まずは、本の世界のとびらをひらきませんか？

はじめの一步!



『グリーン・グリーン』
 あさの あつこ/著 徳間書店
 農林高校に都会育ちの新米教師がやってきた。出会ったのはバラの花が好きな豚!? 季節ごとの実習や、生徒たちの苦悩と向き合いながら、驚きと笑いと、そして成長の日々を描いています。

続編!



『グリーン・グリーン2』
新米教師二年目の試練★



『ひとり旅日和 1』
 秋川 滝美/著 KADOKAWA
 人見知り非要領の悪い日和は、気分転換にひとり旅へ。勇気を出して熱海に行ってみると、少しだけ自分の殻を破れた気がした。佐原、仙台、金沢、博多。少しずつ成長していく日和の姿に周囲の目も変わっていき…。

シリーズ3巻あります!



『ひとり旅日和2 縁結び!』
『ひとり旅日和3 運開き!』

《目次》

- ・新たなトビラをひらこう!
- ・図書館利用者さんの「これ読んでみまー!」
- ・図書館エッセイ…西村留理子さん
- ・「ねえねえ知ってる?」…年齢をペンネームにした作家
- ・貸出ランキング
- ・寿文庫のご報告
- ・カレンダー

図書館利用者さんの

これ読んでみいませー!



『空が青いから白をえらんだのです』 (寮 美千子/編、新潮文庫刊)

受刑者たちが、そっと心の奥にしまっていた葛藤、悔恨、優しさ…。彼らの閉ざされた思いが「言葉」となって溢れ出た時、奇跡のような詩が生まれた。「刑務所の教室」で受刑者に寄り添い続ける作家を選んだ、感動の57編。

ある本屋さんでなにげなく手にし、変わったタイトルにひかれて、なにげなく購入しました。そして読んでみたら…これは刑務所内の受刑者が書いた詩集でした。奈良少年刑務所には700名あまりの受刑者がいる。そのほとんどが20代前半の青年。しかも強盗や殺人、レイプなどの重罪を犯した人々。著者の寮 美千子さんは、この刑務所で受刑者に対して、童話や詩を使った情操教育の講師をしている。受刑者たちの更生を願って行われている改善指導プロジェクトの一環である。授業は月一回、一回90分、6ヵ月で終了するから計6回。受講生は10人前後で、6ヵ月毎にメンバーが入れ替わる。そのわずか半年の、わずか6回だけの授業で、彼らは劇的に変わっていく。閉ざされていた心を開いていく…。作り話だと思わないで下さい。57人分の詩と、その中の何人かに対するコメントを読んでみて下さい。本文のあとの「詩の力 場の力」さらに「文庫版あとがき」を読んでみて下さい。随所に社会や世の中の捉え方、思い方に目覚めさせてくれる何かが詰っています。このわずか200ページのうすい文庫本に、たくさんの衝撃が詰っています。

M



『税金の世界史』(ドミニク フリスビー/著 中島 由華/訳、河出書房新社)

なぜ税金を納めるのか? 誰でも知っている歴史的な事件の裏にはよく税金が関係しているという驚くべき事実などを紹介しながら、人類と税金の歴史を語る。

理不尽かつ横暴なものの代表と言えば、税金ではないだろうか。古今東西、人の思うところは同じなようで、これは、税金が世界史においてどのような動きをもったかがわかる本である。税金は文明社会のコストともいえるわけだが、行き過ぎたところには、暴動や革命などの社会変革が待っている。現代社会における多国籍企業や仮想通貨の課税逃れについても指摘しているこの本は、何気なく納めている税金についての見方を変えてくれるのではないだろうか。

30代男性

新たな発見



『お探し物は図書室まで』
青山 美智子/著 ポプラ社
悩める人々が立ち寄った小さな図書室。不愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない選書と可愛い付録で人生を後押ししてくれて…。明日への活力が満ちてくる、心あたたまる短篇集です。



『定年オヤジ改造計画』
垣谷 美雨/著 祥伝社
夢にまで見た定年生活。しかし、妻は「夫源病」を患い、娘からは「アンタ」呼ばわり。そんなある日、息子夫婦から孫2人の保育園のお迎えを頼まれ…。崖っぷち定年オヤジ、人生初の子守を通じて離婚回避&家族再生に挑みます!



『古い家ではじめた、新しい暮らし』 主婦の友社

山間に佇む古民家をセルフリノベーション、風情ある築150年の古民家で借家暮らし。美しい景色の中で空き家となっていた古い家をベースに、「どう生きたいか」を日々の土台に「新しい日常」をはじめた4組のライフストーリーを写真とともに紹介。

挑戦のとびら

チャレンジ、リベンジしてみませんか?



『独学大全』
読書猿/著 ダイヤモンド社
自分を変えたい全ての人へ…。独学の達人である著者による勉強法の百科事典。何をどう学べばいいか、迷った時に役立つ55の技法を紹介。挫折した経験のある人、これから始める人におススメ」の1冊。



『挑戦 常識のブレーキをはずせ』

山中 伸弥/著 藤井 聡太/著 講談社
まだ誰も見たことのない景色を見るために…。年齢も活躍する分野も大きく異なるノーベル賞受賞研究者と若き天才棋士が、勝負のあり方から若返りの可能性、人工知能の未来、人間の可能性までを語り合う。

趣味のとびら



『はじめての野の草花寄せ植え』

都築 ますみ/監修 成美堂出版
四季折々の自然の風景を一鉢の中で表現できる「野の草花寄せ植え」。基本の植え方や飾り方から、季節ごとの野の草花鉢の植え方、特殊な植え方、日常の管理までを写真とともに紹介。



『ゼロから始める必釣ウキフカセ釣り入門』

コスミック出版
海釣りの定番といえるのがウキフカセ釣り。堤防でも、磯でもオールラウンドに準備から基礎、魚種別の釣り方まで、ウキフカセ釣りについてイラストと写真でわかりやすく解説! 初心者におすすめ!



『中学英語から始める洋書の世界』

林 剛司/著 青春出版社
これから洋書にチャレンジしたい人、無理せずに英語力を身につけたい人にぴったり。大ヒット映画の原作から、近年の名著まで、楽しく読むコツが満載です。



『知識ゼロからの有機・無農薬の家庭菜園』

家の光協会
定年退職後に有機・無農薬栽培を実践してきた菜園愛好家が、その栽培法とテクニックを伝授します。モットーは、知恵は使うがお金は使わない! これから畑を始めたい人によくわかる内容です。

ねえねえ知ってる?

年齢をペンネームにした作家

直木賞の正式名称を知っていますか?

「直木三十五賞」といい「なおきさんじゅうごしよう」と読みます。三十五は、なんと年齢! 直木賞の由来となった作家は、本名を植村宗一と言い、昭和初期に活躍した人気作家です。直木は本名の植の字を分解したもので、31歳の時に雑誌に連載する際、当時の年齢の直木三十一と名乗りました。その後年を重ねるごとにペンネームも「直木三十二」「直木三十三」と改名したそうです。「三十五」で止めたので、その後も直木三十五となりました。毎年新たなペンネームで作品を作り出したユーモラスな作家は、後にも先にも「直木三十五」だけではないでしょうか。直木賞が、新進・中堅作家によるエンターテイメント小説に贈られることもよくわかります。次回直木賞は7月頃の発表になります。お楽しみに♪

貸出ランキング

2022年1月~3月です

1位

『透明な螺旋』 東野 圭吾//著 文藝春秋



愛する人を守ることは罪なのか…。房総沖で男性の遺体が見つかり、失踪した恋人の行方をたどると、関係者として天才物理学者の名が挙がった。草薙は、横須賀の両親のもとに滞在する湯川学を訪ねるが…。ガリレオシリーズ最新刊です!

2位

『きりきり舞いのさようなら』
諸田 玲子//著 光文社

//

『吾妻おもかげ』
梶 よう子//著 KADOKAWA

.....★ 小説以外の1位 ★.....

1位

『最強脳』
アンデシュ ハンセン//著 新潮社